



平成26年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年5月9日

上場取引所 東名福

上場会社名 株式会社ブリヂストン

コード番号 5108 URL <http://www.bridgestone.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役CEO 兼 取締役会長 (氏名) 津谷 正明

問合せ先責任者 (役職名) 資金部長 (氏名) 中村 賢史

TEL 03-6836-3100

四半期報告書提出予定日 平成26年5月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第1四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第1四半期	863,631	8.7	116,377	56.3	113,881	62.3	71,966	66.9
25年12月期第1四半期	794,583	9.4	74,451	18.1	70,149	13.6	43,111	2.2

(注) 包括利益 26年12月期第1四半期 25,537百万円 (△83.2%) 25年12月期第1四半期 152,151百万円 (7.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第1四半期	91.90	91.81
25年12月期第1四半期	55.08	55.03

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第1四半期	3,441,135	1,863,287	52.5
25年12月期	3,577,045	1,862,963	50.5

(参考) 自己資本 26年12月期第1四半期 1,805,336百万円 25年12月期 1,805,285百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	27.00	—	30.00	57.00
26年12月期	—	—	—	—	—
26年12月期(予想)	—	40.00	—	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,790,000	5.0	210,000	10.3	201,000	8.7	127,000	8.5	162.18
通期	3,800,000	6.5	460,000	5.0	442,000	1.7	285,000	41.1	363.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年12月期1Q	813,102,321 株	25年12月期	813,102,321 株
-----------	---------------	---------	---------------

② 期末自己株式数

26年12月期1Q	29,980,553 株	25年12月期	30,115,568 株
-----------	--------------	---------	--------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年12月期1Q	783,063,190 株	25年12月期1Q	782,715,140 株
-----------	---------------	-----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当該資料のうち、将来の見通し及び計画に基づく予測には、不確実な要素が含まれており、変動する可能性を有しております。従って、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は現時点での当社の判断に対して大きく異なる可能性もあります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

① 業績全般

	当第1四半期 連結累計期間	前第1四半期 連結累計期間	増減	
			金額	比率
	億円	億円	億円	%
売上高	8,636	7,945	+690	+9
営業利益	1,163	744	+419	+56
経常利益	1,138	701	+437	+62
四半期純利益	719	431	+288	+67

当第1四半期連結累計期間(2014年1月1日から2014年3月31日)の当社グループを取り巻く環境は、為替は円高の是正が定着する中、国内においては、景気は消費税率引上げに伴う駆け込み需要や経済・金融政策の効果などを背景に緩やかな回復傾向が見られました。海外においては、景気は全体として弱い回復が続いており、米国では個人消費の増加などにより緩やかな回復が続き、欧州においては持ち直しの動きが見られました。また、アジアでは、中国やインドにおいて景気の拡大テンポの鈍化が続き、タイにおいては経済の停滞が見られました。

このような状況のもとで、当社グループは、グループ経営の最終目標である「真のグローバル企業」、「業界において全てに『断トツ』」の達成に向け、市場の需要動向や競合の動向を「先読み」し、技術優位性の強化やイノベーションの促進を通して、グローバルで高い競争力を持つ商品・サービスの拡販、単なる商品単体の販売に終わらないビジネスモデルの構築・拡大などに一層の努力を続けてまいりました。さらに、当社グループが戦略商品と位置付ける商品の拡販や、供給能力の増強、生産性の向上、経営資源の効率的活用、そして環境対応商品・事業の展開をより迅速に実行してまいりました。

この結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は8,636億円(前年同期比9%増)となり、営業利益は1,163億円(前年同期比56%増)、経常利益は1,138億円(前年同期比62%増)、四半期純利益は719億円(前年同期比67%増)となりました。

② セグメント別業績

		当第1四半期 連結累計期間	前第1四半期 連結累計期間	増減	
				金額	比率
タイヤ部門	売上高	億円 7,270	億円 6,753	億円 +517	% +8
	営業利益	1,058	679	+379	+56
多角化部門	売上高	1,402	1,224	+177	+15
	営業利益	104	64	+40	+62
連結 合計	売上高	8,636	7,945	+690	+9
	営業利益	1,163	744	+419	+56

タイヤ部門では、グローバルにおいて魅力ある新商品の投入や、戦略商品として当社グループが位置付ける分野やスペック最適化などの基盤競争力の強化を進め、また、地域ごとの需要変動に迅速に対応してまいりました。

日本では、乗用車及び小型トラック用タイヤ、並びにトラック・バス用タイヤの販売本数は、消費税率引上げに伴う駆け込み需要などにより、前年同期を著しく上回りました。米州では、北米タイヤ事業において、乗用車及び小型トラック用タイヤの販売本数は、前年同期を上回り堅調に推移し、トラック・バス用タイヤの販売本数は、前年同期を上回り好調に推移しました。欧州では、乗用車及び小型トラック用タイヤ、並びにトラック・バス用タイヤの販売本数は、前年同期を上回り好調に推移しました。アジア・大洋州では、乗用車及び小型トラック用タイヤの販売本数は、前年同期並に推移し、トラック・バス用タイヤの販売本数は、前年同期を下回りました。中国では、乗用車及び小型トラック用タイヤの販売本数は、前年同期を大幅に上回りましたが、トラック・バス用タイヤの販売本数は、前年同期を下回りました。特殊タイヤについては、建設・鉱山車両用ラジアルタイヤの販売量は、鉱山車両用の需要減少などの影響により前年同期を大幅に下回りました。

この結果、売上高は7,270億円(前年同期比8%増)となり、営業利益は1,058億円(前年同期比56%増)となりました。

また、多角化部門では、売上高は1,402億円(前年同期比15%増)となり、営業利益は国内事業における利益増加の影響により104億円(前年同期比62%増)となりました。

(注) セグメント別の金額はセグメント間の取引を含んでおり、連結合計の金額はそれらを消去した後の数値であります。

(2) 連結財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における財政状態は以下のとおりであります。

(資産の部)

資産の部は、商品及び製品が91億円増加したものの、受取手形及び売掛金が304億円、有価証券が430億円、投資有価証券が350億円、それぞれ減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ1,359億円減少し、34,411億円となりました。

(負債の部)

負債の部は、短期借入金が303億円増加したものの、未払金が459億円、流動負債その他が310億円、長期借入金が392億円、それぞれ減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ1,362億円減少し、15,778億円となりました。

(純資産の部)

純資産の部は、配当金の支払いにより234億円、その他有価証券評価差額金が272億円、為替換算調整勘定が259億円、それぞれ減少したものの、四半期純利益の計上により719億円増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ3億円増加し、18,632億円となりました。その結果、自己資本比率は52.5%となり、前連結会計年度末に比べ2.0ポイントの増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

前回発表時(2014年2月18日)の予想を変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、連結会計年度の見積実効税率に基づき計算しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2013年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2014年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	286,558	290,794
受取手形及び売掛金	528,465	497,976
有価証券	152,161	109,079
商品及び製品	354,370	363,492
仕掛品	37,353	40,771
原材料及び貯蔵品	165,379	166,990
その他	204,965	185,712
貸倒引当金	△11,871	△11,087
流動資産合計	1,717,383	1,643,729
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	414,442	435,061
機械装置及び運搬具 (純額)	454,423	451,104
その他 (純額)	466,193	429,902
有形固定資産合計	1,335,060	1,316,069
無形固定資産	46,826	45,264
投資その他の資産		
投資有価証券	320,954	285,875
その他	162,399	155,874
貸倒引当金	△5,578	△5,678
投資その他の資産合計	477,774	436,071
固定資産合計	1,859,661	1,797,405
資産合計	3,577,045	3,441,135

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2013年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2014年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	188,693	182,827
短期借入金	216,660	247,013
1年内償還予定の社債	63,794	63,705
リース債務	1,093	1,033
未払法人税等	54,571	41,429
米国独占禁止法関連引当金	44,790	43,741
リコール関連引当金	21,132	18,207
国内生産体制再編引当金	8,582	7,994
未払金	170,235	124,239
その他	289,731	258,641
流動負債合計	1,059,285	988,832
固定負債		
社債	50,000	50,000
長期借入金	221,384	182,147
リース債務	11,342	10,989
退職給付引当金	236,747	223,244
その他	135,321	122,633
固定負債合計	654,795	589,015
負債合計	1,714,081	1,577,848
純資産の部		
株主資本		
資本金	126,354	126,354
資本剰余金	122,865	123,001
利益剰余金	1,597,140	1,645,616
自己株式	△56,644	△56,391
株主資本合計	1,789,714	1,838,580
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	200,703	173,464
繰延ヘッジ損益	△1,092	△871
為替換算調整勘定	△86,177	△112,080
在外会社の退職給付債務等調整額	△97,863	△93,756
その他の包括利益累計額合計	15,570	△33,243
新株予約権	1,621	1,538
少数株主持分	56,057	56,412
純資産合計	1,862,963	1,863,287
負債純資産合計	3,577,045	3,441,135

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2013年1月1日 至 2013年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2014年1月1日 至 2014年3月31日)
売上高	794,583	863,631
売上原価	524,585	534,367
売上総利益	269,998	329,263
販売費及び一般管理費		
販売運賃	34,498	35,597
広告宣伝費及び販売促進費	22,928	25,869
給料手当及び賞与	52,986	56,852
退職給付費用	4,634	4,622
減価償却費	6,649	7,184
研究開発費	21,112	21,604
その他	52,736	61,154
販売費及び一般管理費合計	195,546	212,886
営業利益	74,451	116,377
営業外収益		
受取利息	1,307	1,266
受取配当金	184	394
雑収入	4,724	8,688
営業外収益合計	6,216	10,349
営業外費用		
支払利息	3,877	3,533
為替差損	3,768	5,142
雑損失	2,871	4,170
営業外費用合計	10,518	12,845
経常利益	70,149	113,881
特別利益		
固定資産売却益	—	3,565
特別利益合計	—	3,565
税金等調整前四半期純利益	70,149	117,446
法人税等	23,369	43,141
少数株主損益調整前四半期純利益	46,779	74,305
少数株主利益	3,668	2,339
四半期純利益	43,111	71,966

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2013年1月1日 至 2013年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2014年1月1日 至 2014年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	46,779	74,305
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	34,640	△27,239
繰延ヘッジ損益	19	336
為替換算調整勘定	78,602	△25,194
在外会社の退職給付債務等調整額	△8,771	4,101
持分法適用会社に対する持分相当額	881	△771
その他の包括利益合計	105,371	△48,767
四半期包括利益	152,151	25,537
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	143,739	23,152
少数株主に係る四半期包括利益	8,411	2,385

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間 (自 2013年1月1日 至 2013年3月31日)

(単位:百万円)

	タイヤ	多角化	計	調整額 (注)	四半期連結損益 計算書計上額
売上高					
外部顧客への売上高	674,690	119,893	794,583	—	794,583
セグメント間の内部 売上高又は振替高	698	2,523	3,222	△3,222	—
計	675,388	122,417	797,806	△3,222	794,583
セグメント利益(営業利益)	67,937	6,493	74,431	20	74,451

(注) セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものです。

当第1四半期連結累計期間 (自 2014年1月1日 至 2014年3月31日)

(単位:百万円)

	タイヤ	多角化	計	調整額 (注)	四半期連結損益 計算書計上額
売上高					
外部顧客への売上高	726,233	137,397	863,631	—	863,631
セグメント間の内部 売上高又は振替高	861	2,818	3,679	△3,679	—
計	727,094	140,216	867,310	△3,679	863,631
セグメント利益(営業利益)	105,896	10,499	116,396	△18	116,377

(注) セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものです。